

会 議 名

令和4年度第8回 生活支援事業連絡会

開催日時	2022年12月21日(水) 14:00~15:50
開催場所	本町暫定第1会議室
参加者	小金井市介護福祉課：木津氏、菊地原氏、(敬称略) きた包括：松村氏 みなみ包括：吉田氏 にし包括：杉山氏 ひがし包括：金子(記録)

議 事 内 容

- 1 応援マップについて
 - ・12/23納品 各包括500部、市2000部 市より公共施設へ配架。その後、補充は包括にて行う。
- 2 商工会への店舗の問い合わせについて
 - ・商工会会長より相談があり。「商工会へ問い合わせを受けても回答できない。職員人数も限られており、対応できる者とそうでない者という。詳細は商工会HPをみて問い合わせを行ってほしい。」
 - ・商工会より持ち出し禁止資料として(包括職員以外への閲覧・複写配布禁止)事業者紹介一覧の提示を受ける。
- 3 サブスタッフ養成講座について
 - ・1/13、第13講 本町暫定 14時~15時30分
OJTにおける担当利用者が地域活動に参加する際の配慮等をGWで検討する。
- 4 プロボノ今後のスケジュールについて
 - ・チラシ作成支援→エンパブリック
 - ・WS 2/13・14-16時 エンパブリックも参加。
→カスタマージャーニーを元にどのように啓発していこうか、検討する場。資料事前送付について、検討後連絡あり。参加者への案内文は各包括へデータ送付。
- 5 第1層協議体から出た課題について
 - ・①男性が集まる場所→介護者サポーター養成講座、既存団体の周知、応援ブック未掲載団体への掲載アプローチ
男性が一人になった際の生活について、自分ごととして考えていない。男性があつまる場で啓発をしていく必要がある。
 - ②臨機応援、迅速対応、安い→原則介護保険申請をするうえでの、暫定プランの活用を基本とする。インフォーマルなサービスに関しては自費ヘルパーの情報収集と情報共有を実施していく。
 - ③ちょっとした手伝い→ボランティアを含め、何かできないか検討したい。
 - ④書類の書き方→送付元、担当課に問い合わせをしてもらう。
2層CDより、分かりやすい書式への変更希望を可能な範囲で関係部署への周知する。
- 6 その他
 - ・サブスタッフ卒業生について多数意見あり
→地域でどのような活動につなげるかについて、サブスタッフメンバーをグループ化して気の合う仲間同士で何について活動をしていくか考えていくことがよいのでは
→地域活動については各々やりたいことで集まった仲間を進めていくべきではないか。
 - 第3回サブスタッフ交流会 3/13 13:00-15:00 萌え木ホール
 - ・2月連絡会 2/22(水) 14-16時
 - ・活動報告、課題抽出シートは翌月15日までに提出を。
 - ・きた包括より報告
 - ① スマホ定期相談会：
 - 三井住友信託銀行 3F セミナールーム 現在は部外者貸し出し禁であるが、今後は不明。
 - セブン&アイ難しい、商品を並べたい。デニーズなら、ワンオーダー制でできるかも。(ワンオーダー制NG)
 - グリーントウン集会室 60歳以上住民含む利用 2回/月無料・・・都からの仕様書が届き次第共有をする。
 - ② ドコモショップとの連携
包括の紹介、見守りシール事業、みまもりあいアプリ、包括公式LINEのチラシ等配架、配布してもらうほか、LINE講座ではきた包括の友達追加支援も実施いただく。包括LINEにもドコモショップ講座案内を流している。東小金井店副店長より武蔵小金井店長を紹介いただき、武蔵小金井店にも包括より交渉。同様の対応を行ってもらえることとなった。武蔵小金井店ではみなみ包括の公式LINEの友達追加の協力も依頼している。今後、にし・ひがし包括もLINE取得後にはきた包括より依頼が可能。

次回開催予定 生活支援連絡会 1月18日(水) 14時~

会 議 名

令和4年度第9回 生活支援事業連絡会【確定版】

開催日時 2023年1月18日(水) 14:00~16:00

開催場所 第二庁舎501会議室

参加者 小金井市介護福祉課：木津氏、菊地原氏、(敬称略)
ひがし包括：金子氏 みなみ包括：吉田氏 きた包括：松村氏 にし包括：杉山(記録)

議 事 内 容

1 第1層協議体について

- 配布資料「協議体で挙げられた課題候補の現状と課題等」参照。
最下段「考えられるサービス」⇒「課題解決につながる社会資源」に訂正。
課題②・③は、一緒に進めた方が合理的なのではと、考えている。
課題①については、カスタマージャーニーマップに落とし込みアプローチ可能なのでは。男性が一人残された後の生活、定年退職後の生活のあり方、将来どのようなことが起こり得るのかについて啓発していく必要がある。趣味的な活動だけでなく、就労的な通いの場の創設なども視野に入れていく必要あり。その場合は施策として、まちづくり推進課なども一緒に検討していく必要がある。(町会、自治会、マンション管理組合など少人数の単位で行政が組織作りをさせている事例もある)。
「主な対応状況」に列挙した、「民間サービス提供事業者のリスト」は、ヘルパー自費サービスのリストを包括センターへ情報提供している(課題②③共通)。事業者リストが包括センターで留まっており、問合せがあった際に情報提供しているのが現状。生活応援ブックのような、情報をまとめた冊子を作成し、情報提供を行ってもいいのではないか。その場合、どのような情報があったらいいか、また情報収集をまとめる必要がある。
課題④について、行政書類の分かりにくさについての対応を係内で確認し、可能な範囲で「庁内で事務連絡することは可能」とのことだった。(価格高騰緊急支援)給付金の申請のお知らせについては、地域福祉課に確認したところ、同じシステムを使用している近隣自治体と足並みをそろえて作成しているため、システム関係上書式の変更はできないとの回答あり。申請書類の書式は厚労省で決められているもの。
- 配布資料「個別課題抽出 年間まとめ(R0401~12)」参照。内容は各自確認する。次回第1層協議体では一つ一つは取り上げない。

2 スマホ講座関連について

- スマホサポーター養成講座の開催案内チラシを交換便で配布した。2/1~申込受付開始。今回は65歳以上にこだわらず、18歳以上に対象拡大。東京工学院専門学校、東京学芸大学、法政大学へもアプローチかけている。
- スマートフォン体験教室について、ソフトバンクより営業があり、資料データを各包括へデータで送付するため参考、活用してほしい。
- スマホ講座は明後日開催予定。また、今回の申込者の平均年齢は75歳。3月末にも残り1回開催予定。3月はLINE講座検討中。来年度は、入門講座とLINE講座を交互に行うことも検討している。サポーター養成講座受講者にもお手伝いを頼めるとよい。東京都の普及啓発事業は、来年度の開催予定は未定。会場の確保はしている。来年度のぶらっとほ一む六地蔵の定期相談会も、未定。(こがねいスマホ研究会Yさんに依頼か)。

3 行事保険について

- みなみ包括2層協議体のなかで意見が出た。「サロン活動でお出かけをしたいが、高齢者も多く、ケガをしたら心配」との声あった。社協S氏に相談したところ行事保険を案内された。問合せ、申込み等詳細は社協まで。社協ふれあいいきいきサロン登録団体に関しては、傷害保険に加入しているが、自賠責保険は加入していないため、希望する場合は行事保険の加入を勧める。詳細は社協へ。

4 地域の支え合いについて(事例共有)

- みなみの事例
年末に貫井住宅の住民より介護保険の相談があり訪問。「骨折して買い物、掃除ができない」とのことだった。しかし、参加していた貫井南センターの合唱サークルの仲間がお手伝いしてくれることになり、不足分はコープの宅配で賄え、暫定サービス導入の必要はなかった。
- にしの事例
町会の仲良しどうしでグループLINEを使い、毎日安否確認を行っている。
- 地域ボラの会
会長が新しく変わり、挨拶を兼ねて菊地原氏が活動状況等伺ってきた。
コロナ前は施設に向いて活動していた。個別の買い物、話し相手などの活動も現在も行っている。個人宅への支援については2人1組で対応するようにしている。
相談はまず、社協ボランティアセンターへ。次に会長が依頼者宅へ訪問し打ち合わせ行う。その後、月1回の定

例会で対応可能なボランティアを募る(マッチング)。
電球交換など、すぐに対応が必要な場合は、会長が対応。
毎週1回など、定期的な訪問(例えば生協宅配品の受け取りなど)は対応は難しいとのこと。
傾聴ボランティアは継続の意向。メンバーは20～25名(平均74～75歳)。こがねいスマホ研究会のY氏も入会した。

2/2 PM13:30～定例会、菊地原氏訪問予定。

5 第3回ワークショップについて

- ・2/13(月)PM14:00～開催。住民等参加者出欠は、2/6(月)までに市へ連絡。
カスタマージャーニーマップは、プロボノにて修正作業中。

- ・きた包括 松村氏より。

梶野公園まつりがきっかけで、セブン&アイホールディングスのY氏と情報交換など続けている。今回、Y氏の協力により、イトーヨーカ堂武蔵小金井店の介護用品コーナーショップに応援マップ、4包括チラシを置いてもらえることになった。松村氏立ち合い、設置予定。セブンイレブン各店舗での設置については、Y氏からエリアマネージャーを通じて打診中。きた圏域以外の店舗についてはそれぞれの圏域のCoに対応いただけるとありがたいが、難しければきた包括で対応する。

Y氏には来年度以降、お金のパンフの配布についてもご協力いただけるとよいと考えている。そこで、2月13日のワークショップに、氏に参加いただくことを提案したい。

ワークショップにはもう一人、貫井北分館副館長のI氏の参加を提案したい。I氏とはもともと友人関係であったが、久しぶりにプライベートで会った際に、公民館でもお金に関する相談を受けることがあるが、対応に困っているとの相談を受けた経緯がある。

⇒両氏のワークショップ参加について、全会一致で承認される。

6 第3回サブスタッフ卒業生交流会について

- ・サブスタッフ卒業生のKさん、Sさんのグループが、ボッチャ体験会を開催する予定。その予行演習を希望している。(火)または(金)の午後に活動中のグループで予行演習の協力いただける団体があれば、市へ連絡してほしい。(但し2/14は不可)。

7 その他

- ・きた包括 松村氏より、桜町オレンジカフェの情報提供。三井住友信託銀行のミニ講座開催予定。YouTube動画についても紹介。
- ・1/31第1層協議体にて、2層コーディネーター活動報告は、1人3分程度で行う。協議員の改正あり。0民生委員が新会長就任にあたり、1月より、後任にみなみ圏域のS民生委員が就任となり、挨拶予定。

次回開催予定 生活支援連絡会 2月22日(水)14時～

会 議 名

令和4年度第10回 生活支援事業連絡会(仮)

開催日時	2023年2月22日(水) 14:00~16:00
開催場所	本町暫定第二会議室
参加者	小金井市介護福祉課：木津氏、菊地原氏、(敬称略) ひがし包括：金子氏 きた包括：松村氏 にし包括：杉山 みなみ包括：吉田氏(記録)

議 事 内 容

1. 男性ニーズ調査について

一層協議体にて次年度テーマとされる「男性の社会参加」の促進にむけニーズ調査を行う。K委員長より簡単な質問をいくつか作って聴くよう提案があった。別紙アンケート案を受け意見交換。対象は社会参加していない人へのアプローチは難しいので、通いの場参加男性や参加女性を介してその夫へなどを検討。

に し：実際に参加している男性(社会参加実践者)に「どうして通いの場の活動を続けているのか」「続いている理由」などを聴いてみる。

ひがし：参加しない方のあぶり出しは難しい。社会参加の場に出やすい方、アプローチしやすい方、反面そうでない方もいることを前提としつつ、ニーズ調査は数を多く取った方が良い。

みなみ：通いの場などに来ている妻経由でアンケート用紙を夫にとどけるとすれば、「地域活動に参加していますか」など活動していない男性向けの設問や「どのような地域活動に参加または興味がありますか・町会自治会・地域サロン・体操・趣味・ボランティア・就労・老人会・シルバー人材・その他()」などの設問で興味関心のニーズを細分化して知る。また、60.70.80.90など年代別の属性も知りたい。

き た：記入式より○つけ記号式が回答しやすい。複数の活動例に対して○をつけ最後にその他項目で選択肢に無いものは書いてもらうなど。また、属性などの設問はアンケート後半が一般的。アンケートの設問については、高齢男性の地域活動意識調査などがWeb上に多くあるので、それらも参考にすると良い。

設問項目検討／

- ◇ 参加している活動は何処で知りましたか？ ・家族のすすめ ・ロコミ ・市報 ・包括 ・掲示板 ・応援Book. Map ・公民館 ・社協 ・カルチャースクール ・町会自治会 ・各種情報誌 ・その他()
- ◇ 参加のきっかけや動機は？ ・健康のため ・友人知人に誘われて ・興味関心があった ・以前からやっていた ・仲間づくり ・対価が欲しくて ・その他()
- ◇ 参加しない理由は？ ・お金が無い ・めんどくさい ・やる気や興味が無い ・女性ばかりの活動が多いから ・ひとりが良い ・時間が無い、忙しい ・家の事情で ・出かける体力が無い ・働いている
- ◇ 男性のみの活動が合ったら参加しますか？ どのような男性向け活動に興味がありますか？ ・囲碁や将棋 ・料理 ・PCやスマホ ・体操 ・音楽 ・ボランティア ・就労(シルバー人材など) ・その他() ※市内実際に行われている男性が多い活動を設問にあげる

上記に加え、Web上の調査事例等も参考に、叩き台をつくりMailなどで事前共有し、次回の生活支援Co連絡会の時に精査してアンケートをつくる。

2. 来年度協議体委員について

委嘱期間2年に伴い委員改選。地域貢献活動をする者(サロン主催者)、町会・自治会の委員以外は各組織から推薦されてくる。殆どの委員については選出者が決まりそう。現時点で一部選出が決まっていない。

スポット的な参考意見であれば、年間6回までは一時的な委員委嘱の仕組みもあるので、一層協議体委員はそれぞれの立場で、市を全体的に考えられる方になっていただくのが望ましい。

3月中に委嘱状を対象者へ郵送するため、3月中には対象となる方にお返事を頂けるようお願いをする。

3. 「お金の管理」啓発について

第三回検討会にて出た啓発行動に対してのポイント※別紙配布資料より

認知／社会教育、公民館

各包括圏域にある公民館で一回ずつの啓発事業実施を検討。

※啓発事業を公民館が主催する場合は本館の承諾必要。そのため公民館による主催事業化は難しい。

興味・関心／具体事例

学校で子どもたち向け事業を行い、子⇒保護者⇒高齢者との意見が出たが、認サポの様に啓発対象(ターゲット)が直接、子どもたちであるのに対して、お金に関する啓発は、間接的に保護者と保護者の親(高齢者)がターゲットにしているので、これを学校現場のアクションにするのは難しい。

行動／チェックシート作成

来年度の作業になると考えられる。

・啓発行動の中身については介護福祉課と4包括の生活支援Coのすり合わせをして、統一したプログラム化をすることが必要。

・市の「まなびあい出前講座」に啓発の為の講座を組み込む事は可能。介護福祉課が実施担当、タイトルや内容は未定

- ・公民館での啓発事業実施担当については、担当課で検討確認することとする。
- その他／きた包括：オレンジカフェ講師ほか現役世代から啓発講座へのニーズを聞き取り。来年度、シニアだけでなく現役世代も対象に、企業等との連携による「きた包括暮らしの講座（仮称）」開催を検討中。

4. 第3回サブスタッフ卒業生交流会について

開催日：3月13日(月) 13:00～15:00

※準備打合せの為、スタッフ集合は12:00 受付：金子氏 設営など：吉田ほか

会場：萌え木ホールA会議室

参加：対象者12名参加予定 (3/1時点で16名)

- 実施内容・スケジュールを共有 ※別紙配布資料参照
- メインプログラムのボッチャ実施の際は、各チームにコーディネーターがメンバー参加。
チームへのCo配置 ⇒ さくら：松村氏、コスモス：菊地原氏、うめ：金子氏、ゆり：吉田
※ ゲーム中はグループのコミュニケーション促進補助を行うと共に、参加者が足元のボールに躓かないよう注意すること
- 交流会第二部について／全体を通して参加者が自身の活動に活かせる学びの場になる事。併せて参加者同士が学びの共有を通して仲間づくりが出来るが良い。
 - ・レクレーションをテーマに実施
プログラム／1.レクレーション体験 コーディネート⇒みなみ：吉田
2. GW「自分たちが今までで楽しかったレクレーションを語ろう」
※各グループから出たレクを一つ次交流会にて体験実施する事を参加者に願います。
 - ・交流会第二部のグループは、ボッチャのチームごとで実施
※グループ分けは一部開始時に、自己紹介を兼ねたアイスブレイク用レクで行う

5. スマホサポーター養成講座について

受講生18名(男性8名 女性10名) これまでの講座に比べ若い年代の方が参加している。

2月28日(火)が講座最終日となるが、これから活動していくためにOJTなど継続して学ぶ場が必要。市の相談会サポートを考えているが、みなみ包括が計画している道草市でのスマホ相談会へのボラ要請など、各包括でもニーズがあれば、市から講座修了生へ協力呼びかけを行うことが出来る。修了生の人材活用があれば担当課へ声がけください。

6. その他／

- ・1層Co：連絡・報告事項
 - ◇Co連絡会議事録について
(仮)版でMail回覧し赤字で修正されたあと、最終的に確定版とした際は赤字部分を全て黒字にしてMail送信するよう、今後の議事録作成から願います。
 - ◇生活支援コーディネーターの活動・会議報告についてのお願い。
毎月の報告でいただく生活支援コーディネーターの活動・会議報告の中で、団体名・活動(事業・会議等)の名称・人数・メンバー、対応・協議事項、課題・所感・決定事項等に記載する報告内容について、個人名や個人が特定できる名称については表記しないようにご協力をお願いしたい。
 - ◇地域ボランティアの会 定例会参加報告
社協から依頼で動く流れとなっており、主に傾聴などのボランティア活動。出席者の多くは地域包括支援センターのことをあまり知らなかった。「困らないと(相談先)わからない」「敷居が高い」「かかわる機会がない」などの声があり、地域ボラの会にとっては顔の見える関係が無く遠いものようであった。定例会で配布した応援マップは好評で、翌日、マップが欲しいとニーズあり
- ・きた：市内セブンイレブンへの応援BookとMapおよび包括チラシ設置について
対象店舗／ひがし6店舗 にし3店舗 みなみ4店舗 きた6店舗
設置にあたっては、本社店舗担当者が各お店にBookとMapを配布してくれるが、店頭どこに・どのように設置するかは店舗オーナー次第。きた包括で事前にご挨拶した店舗のなかには、専用チラシケースの設置が可能なところとそうでないところあり。今後、エリアマネージャーに同行する形で市内の全店舗をまわり、どのように協力いただけるか調査する考えで、セブン&アイ・Y氏に調整依頼中。この結果、市内全店舗の情報リストが完成できれば各包括に提供するので、それぞれ活用してもらいたい。
- ・みなみ：一層協議体で事例資料などの収集について、高齢者の社会参加資料共有 ※配布資料参照
- ・にし：杉山氏、都合によりサブ卒交流会及び次回連絡会欠席。連絡会には久野氏出席予定。

次回開催予定 生活支援連絡会 3月15日(水) 14時～ 会場未定

令和4年度第11回 生活支援事業連絡会

開催日時 2023年3月15日(水) 14:00~16:00

開催場所 本町暫定第一会議室

参加者 小金井市介護福祉課：木津、菊地原
ひがし包括：金子 にし包括：久野 みなみ包括：吉田 きた包括：松村(記録) ※敬称略

議 事 内 容

1. 男性ニーズ調査について

- ・3/6(月)に市より提出されたアンケート修正案に対し、きた、みなみから対案提出。それをもとに市で作成された修正案をもとに検討。(みなみ包括・吉田氏より検討資料添付あり)
⇒ひがし・金子氏のぞく出席者で意見交換し、別添画像データのように修正案がまとまる。
- ・連絡会で作成した修正案について、市で検討し、最終稿とする。
- ・アンケートは各包括に100部配布。2層Co中心に通いの場等で配布・回収をする。
- ・市としては回収の締め切りを5/19(金)とし、その集計結果を5月の第一層協議体で報告する予定。
- ⇒2層Coより、サロン等地域の活動場所は月1回開催のところも多く、短いスパンでは配布できても回収ができないところもある。調査をていねいに行うために、アンケート集計結果の報告は9月の協議体ではいかがかとの提案あり。
- ⇒持ち帰り検討すること。

2. 「お金の管理」啓発について

- ・市より、来年度中に各圏域内の公民館分館でお隣さんカフェスタイルで実施。
- ・開催にあたっては、第1層及び2層全員で実施する。
- ・会場申し込み、チラシ作成は市で行う。市報及び公民館・集会施設に配架し周知する。
第2層は通いの場等で周知をお願いしたい。
- ・7月、10月、12月、2月に各分館で実施するほか、11月のお元気サミットで実施。
- ・何月にどの圏域で実施するか相談した結果、以下のとおりとなる。
7月…みなみ、10月…ひがし、12月…にし、2月…きた
- ・7月については早急に日時を決め、会場を抑える必要がある。このあと各自が参加不可能な日時についてみなみ・吉田氏にメール等で連絡することとする。
- ・10月、12月、2月の開催日時については、次回連絡会で確定する。各自、自分のスケジュールを把握したうえで会に臨むこと。

3. 来年度予定について(別添資料あり)

- ・1層協議体はこれまでどおり5月、9月、1月の年3回開催。委員長継続が決まれば日にちが確定できる。
- ・連絡会もこれまでどおり第3水曜日の14時から。3月のみ祝日の関係で21日(木)となる。
- ・高齢者の外出が減る7、8、12、1月頃時期に「オンライン介護予防」実施予定。自宅からオンライン利用による体操を行う。

4. 生活支援コーディネーター活動・会議報告から(別添資料あり)

- ・集会施設予約を時間単位でとれるようにして欲しい
→コミュニティ文化課に確認：無人施設の場合は、地域住民に管理をお願いしているため現時点では難しい。
- ・蛍光灯がきれた、自分では交換できない、対応してほしいという相談者にたいして、きた包括ではアサカワ電気・山本電業の連絡先を紹介。
→きた包括の担当者としては、その後の対応について本人が電話して対応してもらえたかどうかは不明との事。

5. 評価シートについて

- ・令和4年度評価、令和5年度の評価シートを4月15日までに提出する。
- ・お金の管理の啓発について、来年度の計画に含めて記入をお願いしたい。
- ・個別課題抽出データも参考にしたい。

6. その他

- ・第1層協議体委員交代について T氏より辞任の申し入れあり。後任については候補者に打診中。
- ・スマホサポーター養成講座が終了。みなみ圏域道草市でスマホ相談会を実施する。サポーター3名が参加表明している。

次回開催予定

生活支援連絡会

2023年4月19日(水) 14時~ 於：本町暫定第1会議室